

連合鳥取全体の力を結集して政権交代を勝ち取ろう！ —「推薦議員団会議」で士気を高める—



講演会の様子



講師／安達放送部長 左から／本川会長、浜田立民県連代表、湯原予定候補者

サイレント「がんばろう！」

連合鳥取は5月14日(金)、米子市内のホテルに推薦議員20人と連合鳥取執行委員会役員24人が集い、『2021連合鳥取推薦議員団会議』を開催し、迫る次期衆議院選挙に向け意識を合わせ、勝利に向けた行動を確認しました。

■講演

【参議院広島選挙区再選挙と政局の行方】

講師／NHK広島拠点 放送局長 安達宜正放送部長

参議院広島選挙区再選挙の結果から、菅政権と「結集ひろしま(注釈※)」の戦術・野党側の現状を分析し、次のポイントについてわかりやすく説明がありました。

- ① 小選挙区での「与野党1対1」の構図
- ② わかりやすさ
- ③ (争点・構図・候補者)
- ④ 女性ネットワークの活用

また、「衆議院の解散時期」については、10月21日の衆議院議員任期満了を見据えると、「東京オリンピック・パラリンピックを開催した場合は9月解散、10月投票」、「中止の場合、与党は新しい候補が予想される」ことなど、自身の考えを述べられました。

■湯原俊二予定候補者・活動報告【抜粋】

病院の窓に「オリンピック無理」の張り紙がしてあるニュースを見た。政府は国民への説明、議論のプロセスの説明をしていない。エビデンスに基づいた方針が必要と考える。「桜を見る会」「森友加計学園」の時の対応と一緒に。

この状況を変えるには「政権交代」しかない。日本の政治を変えるために、毎日の辻立ちで訴えていく。

■「湯原俊二総がかり大作戦」提案／田中穂連合鳥取事務局長【抜粋】

残された期間は少なく、紹介者カードの集約状況は未だ目標の半分である。「鳥取県第2区の組合員は自身と家族等を含め2人以上」、「第1区の組合員は1人が1人以上」の確実な紹介活動や、ピラ配布の6月末までの完遂に向けた取り組みを再度要請した。

■まとめ

最後に、本川博孝連合鳥取会長は、「この会議の全参加者と連合鳥取すべての組合員が『湯原俊二必勝』に向けて団結してがんばろう！」と締めくくりました。

—今後の展開(予定)—

- ☆連合鳥取
 - ・ 確実な紹介活動を実施する
 - ・ 労組選対事務所を設置する
 - ・ 「第7期労働大学」で「労働組合と政治の関わり」を学習する(西部地域協議会)
 - ☆立憲民主党
 - ・ 2区の選対会議発足式を実施する
 - ・ 事務所を設置、開所する
- ◎決めたことがきちんとできているかチェック機能を強めて対応する

※「結集ひろしま」とは

「広島から県民とともに政治を変える」

野党が党派を超えて結集した政党主導の連絡会。正式名は「国民主権を取り戻すために結集する広島政連合」で、連合広島もオブザーバー参加し、参議院広島選挙区再選挙で「宮口はるこ」勝利に向けてともに闘った。

不安定雇用者の雇用の維持など 一層の支援を労使連名で要請

「コロナ禍における労働政策に関する要請」を実施一

5月17日(月)、本川博孝会長は鳥取県経営者協会の宮崎正彦会長とともに、平井伸治鳥取県知事および石田聡鳥取労働局長に対して、「コロナ禍における労働政策に関する要請書」を手交しました。

新型コロナウイルス感染症拡大が、事業継続・雇用の維持に大きな影響を及ぼしていることから、「労使共通の課題」と捉え、取り巻く様々な課題について労使で議論を重ねてきました。そして、共通認識した以下の7項目について要請書にまとめ手渡し、意見を交わしました。

本川会長は「企業の経営安定は労働者の生活の安定につながる。基盤としてきちんと生活できる賃金や雇用条件をそろえることが急がれる」と訴えました。

この難局を乗り越えるため、今後も労使一体となった取り組みを実現しなければなりません。

コロナ禍における労働政策に関する要請〈骨子〉

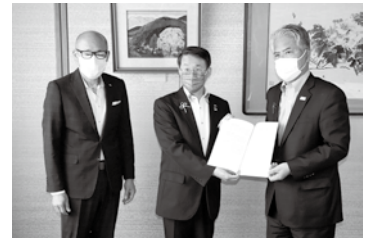
1. 安心な就労支援に向けて
2. 失業なき労働移動への支援
雇用維持が難しい企業の従業員が在籍したまま、人材が足りない企業で働けるようにする。
3. テレワークの普及への支援策の強化
4. 不安定雇用者への支援
非正規雇用の約7割を占める女性労働者が、コロナ禍でより大きな影響を受けていることから、離職防止と雇用の回復に取り組む。また、雇用・所得の不安定化のストレスにより、家庭内DV(ドメスティック・バイオレンス)の発生に対応するため、信頼に足る公的な相談窓口の開設や産業保健スタッフによるオンライン健康相談等の実施など、公的な支援プログラムの構築に取り組む。
5. コロナ感染後の相談体制の強化
6. 医療体制への支援強化
7. 魅力的な地域づくり

鳥取労働局へ要請



鳥取労働局長へ要請書手交
左から/本川会長、宮崎会長、石田労働局長

鳥取県へ要請



鳥取県知事へ要請書手交
左から/本川会長、平井県知事、宮崎会長



意見交換の様子



意見交換の様子

西部地協発「人権確立」に向けて 差別の歴史と現実を学ぶ

「現地学習会」を実施一

連合鳥取は、人権・連帯活動の強化を運動の柱の一つに置き、部落解放鳥取県共闘会議に一括加盟し、部落解放同盟と連携した各種行動・学習会に取り組む中で、日本社会におけるあらゆる差別の撤廃と人権確立に向け活動を進めています。

西部地域協議会も、5月15日(土)、「部落差別の歴史・背景」を学ぶために、大山町の被差別部落で「現地学習会」を行いました。当日は25人で訪れ、ふれあい文化センターの館長と指導員2人から部落の起源・歴史について現地で学び、その後フィールドワークを行い、当時の差別的な実態の説明を真剣に聞き入りました。最後に、ふれあい文化センターで意見交換を行い、全体であらゆる差別をなくすことを確認しました。

被差別部落は現在では存在しない、差別はないという人もいますが、現在でも就職・結婚差別、また、被差別部落には家を建てないという実態もまだまだあります。被差別部落は、当時の権力者が保身のために作ったものであり、まったく根拠のないものです。基本をしっかりと学び、勇気をもって対応することが大切です。



熱心に説明を聞く参加者

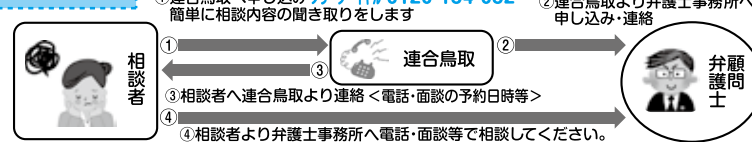


フィールドワークの様子

連合鳥取法律事務所(顧問弁護士)のご紹介

連合鳥取構成組織の組合員とご家族が利用できます

相談の流れ



注意 相談は無料

(ただし、具体的な調査・書類作成等、費用が発生することがあります)
・顧問弁護士がすでに相談者の争議相手と顧問契約を結んでいる場合など、相談や依頼を受けることができない場合があります。

〈顧問弁護士〉

弁護士法人 河本・森法律事務所 / 河本充弘弁護士
森祥平弁護士

一緒に考えましょう♪ 6月は「連合男女平等月間」

連合鳥取は男女がともに担う社会の実現をめざし、①働きがいのある人間らしい仕事の実現と女性の活躍の促進、②仕事と生活の調和、③多様な仲間の結集と労働運動の活性化等、参画に向けた運動を進めています。

そして、男女平等推進への機運を高めるため、「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画+1(2020年11月～2021年10月)」に取り組んでいます。

ご存知ですか? 「連合鳥取第3次男女平等推進計画」+1(33)

昨年11月の定期大会で確認した「推進計画+1」を覚えてる? 目標達成期日の2021年10月が近づいてきたよ。



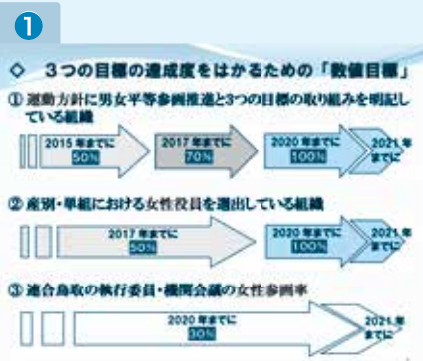
状況をチェックしてみよう!

① 3つの数値目標

それぞれ目標達成をめざす。

② 連合鳥取の取り組み/7項目 構成組織の取り組み/4項目

7年間の取り組みと経過、課題のまとめを、構成組織のトップのリーダーシップのもと、一歩でも前進させていく。



- ### ② 連合鳥取の取り組み
- 男女平等参画の推進とフォローアップの強化
 - クオータ制の導入とポジティブ・アクションの強化
 - 組織・労働・政策課題と男女平等参画の一体的な取り組み
 - 人材育成の充実
 - 女性委員会の組織強化
 - 構成組織の取り組みの支援
 - 地域協議会の取り組み
- ### ② 構成組織の取り組み
- 男女平等参画推進方針の決定
 - 男女平等推進委員会の設置と推進計画の策定・実行
 - 男女平等推進担当部署の設置
 - 女性の意見が反映される仕組みづくり
- 各構成組織のトップのリーダーシップのもと、努力をあげて取り組む

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合キャンペーン 女性のための労働相談ホットライン

0120-154-052

・日時 6月8日(火)、9日(水)
両日とも10時～19時
※男性からの相談も受けつけます
あなたのご家族、ご友人で、お仕事の悩み抱えている人いませんか?
ぜひフリーダイヤルをご紹介ください。

気軽に電話ください

秘密厳守
スマホ・携帯からもOK

女性のための
連合全国一斉集中労働相談ホットライン
10:00～19:00

第17回男女平等参画学習会

- ・日時 6月19日(土) 10時00分～12時00分
- ・場所 まなびタウンとうはく「多目的ホール」
- ・内容
 - ① 講演(WEB)
「連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ1(案)について」
講師/連合総合政策推進局長 井上久美枝さん
 - ② 意見交換
 - ③ 産別取り組み事例報告 電力総連・自動車総連
※産別を通じてご案内しています。

中部地協発 社会貢献活動「北条海岸清掃」を実施



湯原俊二次期衆議院選挙予定候補(連合鳥取推薦)、興治英夫県議会議員、福井康夫倉吉市議会議員も一緒に活動に参加

中部地域協議会は、5月22日(土)、「北条海岸清掃活動」を社会貢献活動の一環として感染対策を講じながら実施しました。集合場所の北条オートキャンプ場には、18単組から52人の参加をいただきました。

冒頭、坂本浩憲議長から「環境保全の取り組みに対する意義と参加者へのお礼」などのあいさつがあり、諸注意の伝達、記念撮影の後、早速、清掃活動に入りました。

今にも降り出しそうな曇天とやや強い風の中での清掃活動でしたが、熱心な取り組みにより、70L入りのゴミ袋で燃えるゴミ13袋、燃えないゴミ2袋、古タイヤなどゴミ袋に入らない大型ごみ4点が回収されました。

回収されたゴミの多くは海洋環境の問題になっているペットボトルや発泡スチロールなどでした。連合鳥取が取り組みを進める「連合エコライフ～withコロナ～」が広がっていくことが期待されます。

例年であれば、清掃活動の後にはバーベキューを行っていましたが、今年では行うことができませんでした。かわりに、閉会式のあと参加者全員に飲み物と大山乳業のお菓子セットを配り解散となりました。疲れた体に甘いものは元気が戻ってきます。特に子ども達には喜んでいただけたようです。

今後も中部地域協議会が実施する社会貢献活動へのご理解と積極的なご参画をよろしくお願いいたします。

「連合エコライフ～withコロナ～」

1998年から取り組んだ「連合エコライフ21」の一部を踏襲し、「ウィズ・コロナ」で新しい生活様式が求められる今、これまで以上に「環境にやさしい生活」であるために、「連合エコライフ～Withコロナ～」として実施することとなりました。

《変更点》○コロナ禍において在宅勤務をはじめとするテレワークが増えてきたことから、在宅勤務において心がけられる項目を付加し補強。
○さらに、感染拡大防止や熱中症予防を意識した取り組み項目を追加。





湯原 俊二

— 緑肥の想い —

民主主義は 国民の疑問に 答えるところから..

【5月17日寄稿】

東京オリンピックに鳥取県関係者は、飛び込み、平泳ぎ、ボート、ボクシング、ライフル射撃、ヨットで出場が内定しています(原稿提出時点)。過去最高の参加人数で快挙です。特に県西部地域の方は、選手をご存じの方も多と思います。

一方で、新型コロナウイルスの変異種の感染が拡大し、大阪などでは医療が崩壊しています。各種世論調査では国民の7割が中止か延期を望んでいます。しかし、菅政権は「オリンピックは開催する」という言葉ばかりで、実態を直視した具体的な対応策を国民に説明していません。

国民の不安や疑念疑問には答えていません。これは森友学園問題、加計学園問題、桜を見る会の問題にも共通しています。

民主主義は、政治家が国民の疑念疑問、不安にちゃんと説明するところから始まります。この点だけをとっていても政権を変えなければなりません。

QRコードからも
つながります▶



湯原さんのホームページもご覧ください

湯原俊二

検索

湯原俊二「総がかり大作戦」

支援の輪を拡げよう!



自治労米子市役所職員労働組合
「分会役員学習会」(2021.5.11)



連合鳥取「推薦議員団会議」
(2021.5.14)



中部地協「北条海岸清掃」に参加
(2021.5.22)
右の後姿が湯原さん

“ザ・議員”

伊藤 保

鳥取県議会議員

非常駐車帯で携帯電話していませんか

3月県議会一般質問の一コマです。

山陰道には、国道9号線では見かけなかった「非常駐車帯」が、看板とともに約550m間隔に設置されているのをご存じですか。なかには、携帯電話されている人や、シートを倒してお休みになっている方もあります。

しかし、非常駐車帯は幅員も狭く、駐停車には危険が伴います。

道路交通法上、非常駐車帯とは、故障した車、緊急車両、道路管理車両時や急な体調不良の時のみ利用できる駐車帯であって、原則一般車両は使用できません。車が故障したときには、ハザードランプを点けたり、三角板を表示することになっていますので、みなさんご注意ください。



「連合鳥取推薦議員団会議」に参加。サイレントで「がんばろう!!」

松本 熙

境港市議会議員

「ザ・議員」コーナーの投稿順がまわってきました。議会報告と思いながら、次の議会は6月なので自分の投稿には間に合いません。そこで今回は、4月2日に建築工事が進む市民交流センター(仮称)の現場視察を行ったので報告します。

市庁舎の裏側にあった市民会館跡地に新設するもので、工事総額は約45億円です。

メインは可動式座席が約800席可能なホール。更に図書交流広場、会議室、学習室、カフェ等が入る防災時の避難拠点メインとなる複合施設です。

今後は5月に入ると内装工事・外装工事と進み、来年3月末には隣接する公園と一体となった交流センターの全容が市民のみなさまにご覧いただけると思います。



視察の現場にて/後姿 左から2人目が松本議員

少し前の話だが、今春選抜高校野球が開催された。1年ぶりに甲子園に球音が響き、普通に野球ができる球児の笑顔、それを見守る監督の表情が強く印象に残った。昨年の悔しさをバネに黙々と練習を取り組んだだけに嬉しかったと思う。▼今年はこの当たり前の日常が如何に有難い事なのか改めて認識し、日常を取り戻していく行動が必要だが、日本の監督にそれが見えないのが残念だ▼今年には選挙の年。国民の政治への無関心が課題だが、昨年1年間具体的な政策・対策も示さず、「怖いウイルス」「ステイホーム」と過剰な発信を続け、国民の生活を一変させ閉塞感を生んだ政府やメディアの責任は大きく、政治無関心の要因の一つではないかと思う▼肝心のワクチン接種もなかなか進まない。街の監督は我々が選ぶことができる。コロナを終わらせて元氣な街を創る監督を選ぶことが我々の日常を取り戻す第一歩である。

(殿の付き人)



らんらんらん



再生紙を使用しています